

# 杉並ユネスコ協会 成人向け事業



1951年に設立した杉並ユネスコ協会は、日常の生活の中にユネスコの掲げる平和精神を取り入れて、国際理解を深め、平和の推進を図る趣旨のもとに、杉並区教育委員会と共催で各種事業を実施しています。令和5年度は以下の事業を実施しました。

## 「ユネスコ 科学教室」

ユネスコの科学分野の事業として、楽しく科学を学ぶ教室を開いています。

＜5年度の実施内容＞

- 「五感でさぐる 夏の役立ち草と毒草」（7月30日）植物園勤務であり植物案内人の池村国弘さんを講師に招き、講義を受けたあと、実際に会場近くを散策し、食べられる草やそうでない草を観察しました。
- 「すぎなみサイエンス・フェスタ」に出展（3月3日）  
テーマ：ドクタートミーの爬虫類（はちゅうるい）教室

## 「ユネスコ運動の日」

1947年7月19日、民間のユネスコ運動が世界に先駆け、日本で始まりました。その日を「ユネスコ運動の日」と定め、その存在意義を強くアピールする活動として、講演会、バスツアーなどを実施しています。

＜5年度の実施内容＞

- 「平和とSDGsを考えるバスツアー」（9月26日）  
都立第五福竜丸展示館と東京都環境局中央防波堤合同庁舎を見学するバスツアーを行いました。平和の大切さを知り、自分に何ができるかを考えました。また、SDGsを自分ごととして、一人一人が無理なくできるSDGs対策を考えることができました。

## 「ユネスコのつどい」

1946年11月、第一回のユネスコ総会が開かれたことを記念して「ユネスコのつどい」を毎年開催しています。平和を願うユネスコ精神の普及と、ユネスコ活動への協力を呼びかけるため、講演会・シンポジウム・コンサートや映画会などを行っています。

＜5年度の実施内容＞

- 「美しい豊かな海を未来に届けるために」（令和6年2月18日）  
東京大学大気海洋研究所の道田豊さんを講師に迎え、天気予報の見方や気候変動について、夏の気温が高い日が増えていること、2100年には、全国的に気温が現在以上に上昇することのお話を伺いました。私たちも地球温暖化を止めるべく、色々考えるきっかけをもらった講演会でした。

## 「ユネスコ料理教室」

各国の芸術や文化・歴史をより深く学び、理解を深めることを目的に開催しています。

＜5年度の実施内容＞

- 「ミャンマー料理～料理からミャンマーに思いを馳せる」（10月21日）  
レイレイウーさんとタンタンミンさんを講師に迎え、①ココナッツご飯②鶏肉カレー（ヒン）③エビチリ④チンポウオン（酸っぱい葉っぱ）のスープ⑤干しエビのふりかけ⑥きゅうりのサラダ⑦スノープリン7品で盛りだくさんでした。実習後は、ミャンマーの伝統的な踊り（ティンジャン）を民族衣装をまとうて踊ってくれました。ミャンマーの話聞きながら、伝統文化や日常生活に触れる良い機会となりました。